

# 2月例会レポート

2月11日(日)定刻14時から東京海洋大学品川キャンパス白鷹館において、青麗俳句会2月例会が開催されました。今回も天候にめぐまれ、熱気あふれる例会となりました。

参加者は47名、司会はいつも通り、ジョニー平塚さんです。開始前に、さとうかしこさんから素敵な差し入れがあり、一同大感激の中、例会の開始です。



今回は3句出句で投句数は全152句、選句はひとり3句です。カウントダウンも含めて句会も6回目となり、互選披講はスムーズに進みます。

その後、高得点句(今回4句)の合評、名乗りと自句自解です。自分では気づかなかった鑑賞を聴くと勉強になるとともに、俳句の奥深さ、楽しさを感じます。主宰ご自身の高得点句、雛の句の解説を最後に前半終了です。

後半は、主宰選の発表、講評から開始です。今回は、☆が17句、☆☆が8句、☆☆☆が5句、それぞれ選ばれました。互選は無得点でも☆の付いた句の講評を聴くと、新たな気付きがあるとともに、鑑賞・選句の難しさも感じます。



この後、主宰による出席者全員の句(50句以上!)の講評、添削の時間です。いつもながら主宰のパワーには驚かされます。季語の選び方、助詞の使い方等、初心者にも分かりやすい解説が続き、今後、自分ももう少しい句が作れそうな気がしてきました。

最後に、会場での選句用紙の配布は不要では、という意見があり、今後はご自身で準備できる方は、各自で持参することになりました。

では、次回、3月例会も楽しい句会にしていきましょう。

(文責:磯部安志)

